

いわて青少年育成プラン主要指標【平成27年度青少年問題協議会（H28.2.3）にて決定】

1 個性・主体性を尊重した『人づくり』

No.	指標名	指標の考え方	単位	現状値 H26年度	目標値			目標値 H30年度
		目標値の考え方			H27	H28	H29	
1	生徒の朝食の欠食率（高校3年生） 【↓指標】 健康国保課	子どもたちの「望ましい食生活習慣」の定着度合いを量る指標として、欠食率の高い高校3年生について指標を設定します。	%	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
		平成26年度の現状値を維持させることを目指します。						
2	体力・運動能力調査の総合評価（5段階：A～E）のA・B・C段階の児童生徒の割合（小学校5年生・中学校2年生） スポーツ健康課	児童生徒の体力・運動能力向上に向けた指標として設定します。	%	79.7	79.7	79.7	80.0	80.0
		総合評価の上位群であるA・B段階と中位群であるC段階の割合の合計値を震災前の状況に改善することを目指します。						
3	「特別の教科 道徳」の授業改善に取り組んでいる学校の割合 学校教育室	児童生徒一人ひとりの自己実現を支援することを重視する学校づくりの強化を目指すための指標として設定します。	%	小― 中―	小40 中30	小60 中40	小80 中60	小 100 中 80
		学習指導要領の一部改正による「特別の教科 道徳」の全面実施（小学校平成30年度、中学校平成31年度）にむけ、授業改善に取り組む学校の割合の増加を目指します。						
4	ニート等の自立に関する相談件数（累計） 若者女性協働推進室	ニート等の若者に対する支援の取組の効果測定を目安として、国及び県の事業による相談件数を指標として設定します。	件	24,404	29,300	34,300	39,300	44,300
		平成26年度実績を基準に毎年度5,000件の相談件数を目指します。						
5	不登校児童生徒数 【↓指標】 学校教育室	豊かな心を育む教育の推進により、豊かな感性や情操をはぐくみ、不登校生徒数の減少に向けた指標として設定します。（高校は中退生徒も含む）	人	小 143 中 791 高 555	小 141 中 783 高 549	小 139 中 775 高 543	小 137 中 767 高 537	小 135 中 759 高 531
		毎年、不登校児童生徒数の減少を目指します。						
6	少年（20歳未満）の再犯者率 【↓指標】 警察本部少年課	少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動の効果を測る目安として設定します。	%	17.4	25	25	25	25
		再犯者率を過去5年間の平均水準よりも悪化させないことを目標として設定します。						
7	いわて希望塾参加者数（累計） 若者女性協働推進室	将来の地域づくり活動を担う青少年の育成の取組の効果測定を目安として、指標として設定します。	人	792	910	1,030	1,150	1,270
		毎年120人の参加を目指します。						
8	わたしの主張大会発表者数（地区大会含）（累計） 若者女性協働推進室	夢や希望の実現に向けて主体的に行動する青少年を育成するための取組を示す指標として設定します。	人	1,059	1,260	1,460	1,660	1,860
		毎年全ての中学校からの参加を目指します。						
9	いわて若者交流ポータルサイト登録団体数（累計） 若者女性協働推進室	活躍している若者団体の顕在化とともに活発な交流に結びつくよう支援することを目指す指標として設定します。	団体	18	30	40	50	60
		毎年度10団体の登録を目指します。						

（注）【↓指標】＝ 低減を目指す指標

2 健全な青少年をはぐくむ『地域づくり』

No.	指標名	指標の考え方	単位	現状値 H26年度	目標値			目標値 H30年度
		目標値の考え方			H27	H28	H29	
10	青少年活動交流センター利用者数（累計） 若者女性協働推進室	青少年が社会との関わりの中で、自主的に自立した活動ができるよう支援するための取組の効果測定を目安として、指標として設定します。	人	16,966	33,200	49,400	65,600	81,800
		毎年度16,200人の利用を目指します。						
11	いわて・親子家庭フォーラム参加者数（累計） 若者女性協働推進室	家庭や地域の教育力向上に向けた取組の効果測定を目安として、指標として設定します。	人	5,356	6,860	8,360	9,860	11,360
		毎年度、2会場の合計で1,500人の参加を目指します。						
12	いわて希望塾参加者数（累計） 若者女性協働推進室 ※No.7再掲	将来の地域づくり活動を担う青少年の育成の取組の効果測定を目安として、指標として設定します。	人	792	910	1,030	1,150	1,270
		毎年120人の参加を目指します。						
13	いわて希望塾における青年サポーター参加者数（累計） 若者女性協働推進室	地域において青少年育成活動を行う青年サポーター養成の取組の効果測定を目安として、指標として設定します。	人	108	130	150	170	190
		毎年度20人の参加を目標とします。						

3 青少年を事件・事故から守る『環境づくり』

No.	指標名	指標の考え方	単位	現状値 H26年度	目標値			目標値 H30年度
		目標値の考え方			H27	H28	H29	
14	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合 生涯学習文化課	地域の子どものための安全・安心な居場所の確保のため、指標として設定します。	%	91	91.2	91.4	91.6	91.8
		平成26年度91.0%から毎年0.2%増の91.8%を目指します。						
15	メディア対応能力養成講座参加者数（累計） 若者女性協働推進室	保護者など大人のインターネット対応能力の向上を測る目安として指標として設定します。	人	689	810	930	1,050	1,170
		毎年度、4会場の合計で120人の参加を目指します。						
16	青少年を非行から守る県民大会参加者数（累計） 若者女性協働推進室	青少年を非行から守る県民運動の効果測定を目安として指標として設定します。	人	2,124	2,500	2,900	3,300	3,700
		毎年度、400人の参加を目指します。						
17	刑法犯少年数【↓指標】 警察本部少年課	非行少年を生まない社会づくりに向け、刑法犯少年数を指標として設定します。	人	269	265	262	258	255
18	少年（20歳未満）の再犯者率【↓指標】 警察本部少年課 ※No.6再掲	少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動の効果を測る目安として設定します。	%	17.4	25	25	25	25
		再犯者率を過去5年間の平均水準よりも悪化させないことを目標として設定します。						

(注)【↓指標】＝ 低減を目指す指標

いわて青少年育成プラン参考指標【平成27年度青少年問題協議会（H28.2.3）にて決定】

1 個性・主体性を尊重した『人づくり』

No.	指標名	指標の考え方	単位	現状値 H26年度
1	児童生徒の読書者率 生涯学習文化課	児童生徒の読書活動の推進状況を推し測る目安として、1ヵ月に本を1冊以上読んだ者の割合を指標として設定します。	%	小 99 中 90 高 67
2	森林・林業体験学習の参加者数（累計） 森林整備課	森林とのふれ合いを通して森林愛護の心を育むため、県内各地で実施される森林・林業体験学習の現地指導やフォーラム等に参加する者の数を指標として設定します。	人	5,721
3	家庭の教育力が低下していると思う保護者の割合 若者女性協働推進室	家庭教育の実践状況と保護者の家庭教育への認識度を量るため、家庭の教育力に関する保護者の意識割合を指標として設定します。	%	62.4 (H27)
4	生涯学習情報提供システム利用件数 生涯学習文化課	意識調査においても地域における社会活動等について「どのような活動があるか知らない」という答えが多かったことから、情報提供の促進を指標として設定します。	件	23,710
5	生涯学習に関する研修会等への参加者数 生涯学習文化課	県民一人ひとりの生涯を通じた多様な学びにつなげるため、県教育委員会が主催する生涯学習に関する研修会等への参加者数を指標として設定します。	人/年	6,194
6	新規高卒者就職率 学校教育室	進路指導や就職支援の効果測定のため、就職希望者のうち就職決定した者の割合を指標として設定します。	%	99.6
7	新規大卒者就職内定率 雇用対策・労働室	大卒者の雇用の場を確保など、就職支援の効果測定のため、就職を希望する県内大学卒業者の就職内定率を指標として設定します。	%	96.4
8	新規高卒就職者の離職率【↓指標】 学校教育室	高校生の適性や能力と多様化する職業とのマッチングなど、進路指導や就職支援の効果測定のため指標として設定します。	%	42.3
9	いわて若者交流ポータルサイトアクセス数（累計） 若者女性協働推進室	若者の交流状況を示す指標として設定します。	件	2,124

（注）【↓指標】＝ 低減を目指す指標

2 健全な青少年をはぐくむ『地域づくり』

No.	指標名	指標の考え方	単位	現状値 H26年度
10	放課後児童クラブの設置数 子ども子育て支援課	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に、適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図るため、放課後児童クラブの設置数を指標として設定します。	か所	306
11	教育振興運動実践区における活動実践数 生涯学習文化課	地域における教育振興運動の広がりを推し量るものとして指標を設定します。	件	3,613
12	JICAボランティア参加者数（累計） 若者女性協働推進室	海外で活躍する青年を育成するため、青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア等、J I C Aが行うボランティア活動参加者数を指標として設定します。	人	533
13	町内会などの地域活動に参加したことの青年の割合 若者女性協働推進室	青少年団体等の活動の促進状況を量るため、その中心的な活動である町内会などの地域活動を行っている青年の割合を指標として設定します。	%	21.3 (H27)

3 青少年を事件・事故から守る『環境づくり』

No.	指標名	指標の考え方	単位	現状値 H26年度
14	人口10万人当たりの刑法犯認知件数 【↓指標】 警察本部生活安全企画課	誰もが安心して生活できる安全な地域社会に向け、犯罪発生率を指標として設定します。	件	395
15	人口10万人当たりの交通事故死者数 【↓指標】 県民くらしの安全課	誰もが安心して生活できる安全な地域社会に向け、交通事故抑止目標を指標として設定します。	人	5
16	情報モラル教育を実施している学校の割合 学校教育室	全ての学校で情報機器利用における危険性や問題を理解させる情報モラル教育を実施している学校の割合を指標として設定します。	%	100
17	教育振興運動各実践区等で「情報メディア」に関する活動に取り組んでいる割合 生涯学習文化課	地域における「情報メディア」の取組を推し測る目安として、教育振興運動の実践区等の活動に「情報メディア」に関する活動を取り入れている割合を指標として設定します。	%	19.7

(注)【↓指標】＝ 低減を目指す指標